

一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー
令和6年度事業計画【改定】

1. 令和6年度事業の基本方針

当法人は、平成30年4月に関西国際空港の立地する泉州地域9市4町の観光振興を目的として設立、その後令和3年3月に観光庁より観光地域づくり法人（以下「DMO」という。）の正式登録の承認を受け、この地域の広域観光振興の役割を担うべく活動を進めてきました。令和6年4月26日にDMOとして3年ごとの更新登録が承認されたことを受け、さらなる地域の観光振興に向けた事業を展開してまいります。

令和5年度は、コロナ禍の影響から回復基調にある中、開催の迫った大阪・関西万国博覧会（2025年日本国際博覧会：以下「万博」という。）に向け、これを機に大阪を訪れる観光客に向けたガストロノミーツーリズムをはじめとする観光（体験）コンテンツの磨き上げや観光客受け入れの基盤づくりを中心に事業を進めてきました。また、地域の観光関係団体、商工会議所・商工会、民間事業者や地域住民を対象とした観光地域づくり事業を継承し、国や大阪府、地域大学などと事業を通じて連携体制の構築を図ってきました。併せて国の補助金事業や構成市町からの受託事業を活用して旅行商品造成やイベント開催支援などを進めました。

さらに、「KIX泉州国際マラソン」に代わる新たな事業展開として、泉州の「食」をテーマとした「泉州グルメサーカス」の第1回を開催し好評を得ることができました。今後、泉州の市町などを巡回しつつ泉州を代表するイベントに育てていく予定です。

泉州の観光や食などに関する情報については、引き続きホームページやフェイスブック、Instagramにより発信するとともに、OTA（Online Travel Agent）を用いた商品販売を開始しました。さらに、令和6年2月に旅行業法に基づく旅行業登録を終え、本格的に旅行商品の販売が可能となりました。

なお、地方創生交付金満了による収入減に対応し、「KIX泉州国際マラソン」の移管に伴い観光事業へ特化するため事務局体制の再構築を進めました。

令和6年度は、関西国際空港開港30周年として、また万博のプレ・イヤーとして、ここ泉州が大きく注目されることが想定されるため、この好機を活かして各事業を推進してまいります。

また、DMOに求められる基本的な役割を踏まえて事業構造の見直しを図るとともに、観光マーケティング戦略の策定に向けたデータマーケティング手法の確立に取り組みます。その他、観光地域づくりの関係者である各市町、商工会議所・商工会、観光協会、生産者、事業者、教育機関、地域住民等との合意形成及び連携の構築に向けた観光振興策を推進してまいります。

一方で、当法人の厳しい財政運営の改善に向け、事業構造の見直しを図るとともに、各事業に係る人件費を事業ごとに割り当て費用構造の可視化を図ります。同時に「関西国際空港利用促進・PR事業支出金」の対象事業費に必要な人件費を割り当てさせていただき、前期繰入金を組み入れを縮小してまいります。また、観光庁補助金の活用や事業の受託を積極的に進めるほか、新規会員の獲得や事業実施にかかる協賛金の確保、自主財源としての収益事業の開発、また事務局費の削減など自走化に向けた取り組みを進めます。

事業構造の見直しについては、現在の観光事業を以下の通り整理・統合するとともに、観光マーケティング事業を受入環境整備事業から独立させます。

(現)		(新)
○プロモーション事業		○プロモーション・情報発信事業
○情報発信事業	⇒	○受入環境整備・コンテンツ開発事業
○受入環境整備事業		○観光マーケティング事業
(KPI 等データ構築含む)		
○商品企画・開発事業		

各事業については、「プロモーション・情報発信事業」において、万博への来場者をターゲットとした観光振興に向けて当 DMO のホームページの再構築を図るほか、SNS 等の Web 媒体による情報発信を強化いたします。海外に向けた情報発信については、JNTO（日本政府観光局）や関西観光本部、大阪観光局等の各機関と連携した施策に取り組みます。

また、万博プレ・イヤーとして「泉州グルメサーカス」事業の内容の充実を図るとともに、「大阪泉州牡蠣フェス」の参加連携市町の拡大を図るほか経済波及効果を高める開催方法を模索し、泉州地域及び当 DMO の知名度向上、万博の機運醸成に努めます。

「受入環境整備・コンテンツ開発事業」では、大阪府の委託事業である「ガストロノミー・ツーリズム実証事業」を通じて、泉州地域の「食」の魅力を伝える着地型観光商品の開発及びその販売体制の構築に向けて取り組みます。

また、旅行業法に基づく旅行業登録を機に各市町の観光や産業資源、スポーツや食などのコンテンツを生かした着地型旅行商品の造成・販売を進めます。

その他、現在 13 市町及び 40 団体が参加する「泉州観光地域づくり連携協議会」をさらに活性化させることなどにより、泉州地域の行政域や業種を越えた連携による観光客の受け入れ態勢を構築してまいります。

「観光マーケティング事業」においては、来訪者満足度やリピーター率等の DMO として必須の KPI 設定に向けたデータ取得手法のほか、ターゲット設定等の観光戦略策定に向けたデータマーケティング手法の確立及びそれに携わる専門人事の育成に向けて、学識経験者の指導をいただきながら取り組みます。

また、観光庁の補助金事業「関空近く！大阪 S E N S H U で特別な体験（食と歴史、伝統産業）事業」が採択されたため、この事業を通じて泉州ならではの「コト」・「モノづくり」を体験できるイベントを開催し、その中から特別な体験ができるものをプレミアムコンテンツとして磨き上げ、ツアーの商品として造成・販売につなげる。特にこれらを通じて商工会議所・商工会をはじめとする泉州地域の観光関係者との連携を図る。

2. 各事業における新規・重点取組事項

○現行「中期運営方針」に掲げた 3 つの戦略

- 戦略Ⅰ 「何度もこの地を訪れたい」と思わせる多様な観光資源の整備
- 戦略Ⅱ 特別感のある旅行商品での誘客と SNS を通じた情報提供
- 戦略Ⅲ 自主財源の確保と地域への利益還元を行う持続可能な体制の構築

○令和6年度事業に係る重点取り組み

重点1：関西国際空港30周年及び2025大阪・関西万国博覧会プレ・イヤーを活かしたプロモーション活動

重点2：2025年に向けた観光コンテンツの観光商品の造成と販売

重点3：当法人の安定的な財政基盤の確立を含む事業構造及び「中期運営方針」の見直し

3. 事業費目ごとの主な事業 ●補正項目

(1) プロモーション・情報発信事業

●泉州グルメサーカスの開催

○その他プロモーション活動（大阪泉州牡蠣フェスの展開、モルック等のスポーツ大会の開催等）

○ツーリズム EXPO への出展、旅行業者との商談会参加

○泉州観光ガイド（ホームページ）の再構築

○情報発信（国内向け：SNS等のWeb、海外向け：MATCHA等のWeb、JNTO等との連携）

●専門人材人件費

(2) 受入環境整備、コンテンツ開発事業

●ガストロノミーツーリズム実証事業

○着地型旅行商品の造成と販売

○「泉州観光地域づくり連携協議会」の運営・活性化

○観光地域づくりについての地域住民向けの意識啓発（セミナー開催等）

○オンラインによるサイクリングツアー実施

○泉州地域魅力創造事業（「関西国際空港全体構想促進協議会」補助事業）

○各団体との事業・情報連携に向けた企画・調整

（「泉州地域交通事業者情報連携会議」（仮称）の立ち上げほか）

●専門人材人件費

(3) 観光地域マーケティング事業

○観光関連データの取得・分析

●専門人材人件費

(4) 補助金事業・受託事業など

○観光庁補助金等を活用した特別体験事業実施

○各市町等からの事業の受託